

当面の技術対策(畜産編)

平成23年6月15日

発行：ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 牧草の適期収穫

牧草の適期収穫(出穂始～出穂期)を実現するための準備に努めましょう。生育の判断は表のとおりです。牧草の品種(早晩生)によっても異なります。各ほ場の生育状況の観察を良く行いましょう。

表 生育ステージの判断目安

生育ステージ	判断の目安	忠類地区平年値
出穂始	m ² 当たり2～3本出穂	6月15日
出穂期	m ² 当たり半分の個体が出穂	6月17日

2 牧草刈り取りの留意点

牧草の刈り取り高に注意しましょう。適切な刈り取り高により、再生力や茎数が確保され、その後の収量にも好影響が期待されます。サイレージ不良発酵の原因となる土砂や糞尿の混入も回避されます。チモシーの場合は球茎のすぐ上の節以上に刈り取り高を設定しましょう(図参照)。およそ10cmの刈り取り高を確保しましょう。

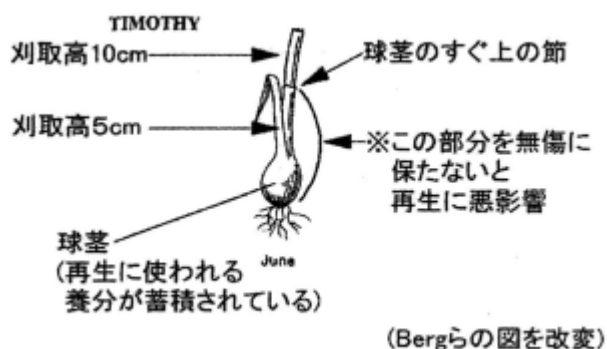


図 チモシーの球茎と刈り取り高

3 細断サイレージ調製の留意点

- 1) バンカーサイロ周辺を整備し、土砂の混入を防ぎましょう。サイロ内は十分に洗浄しましょう。スタックサイレージの場合は設置場所を整備し、水たまり等ができないよう注意しましょう。
- 2) 切断長は10～12mm程度とし、高水分で調製せざるを得ない場合は排汁を低減するため、長めに設定しましょう。
- 3) シャープな切断面を確保するため、モアコンやハーベスターの刃の研磨、調整を励行しましょう。
- 4) 各種サイレージ添加剤を使用する場合は推奨される添加量を厳守しましょう。
- 5) 踏圧作業は、原料草を30cm以下に薄く散らして十分に踏み込みましょう。サイロ壁際の踏圧もしっかり行いましょう。
- 6) 運搬スピードと踏圧作業のバランスを考慮しましょう。踏圧車輛台数をふやしたり、サイロ2本同時詰めなど、踏圧重視の作業を徹底しましょう。
- 7) 積み込み後は、速やかに密封・加重します。

～ 農作業安全・適正な農薬使用を心がけましょう! ～

長時間作業する場合は、2時間に20分程度は休みましょう
治療薬、抗生物質を使用したら、個体牛のマーキング、記帳を忘れずに